

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小島化学薬品(株) L棟 新築工事	階数	地上4F
建設地	埼玉県狭山市柏原	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年3月3日
敷地面積	2,508㎡	作成者	高橋 秀由
建築面積	1,469㎡	確認日	2020年3月3日
延床面積	4,800㎡	確認者	高橋 秀由



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	従業員の作業環境が向上するよう配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	評価対象外	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
Q2 サービス性能	補修必要間隔の長い外壁材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。	
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を87%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**小島化学薬品㈱ L棟 新築工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>	
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q2 サービス性能</b>					0.43			<b>3.1</b>	
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
<b>2 耐用性・信頼性</b>				3.2	0.50			<b>3.2</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁:ALC塗装仕上:40年		5.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:SUS:C、汚水、雑排水:塩ビ:B、Eは不使用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.0	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.50		-	-	<b>3.1</b>
3.1 空間のゆとり			<b>3.4</b>	0.30		-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ		3階壁長さ比率:0.141	4.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.57</b>		-	-	<b>2.2</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30		-	-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>3.0</b>	0.40		-	-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>2.5</b>	0.30		-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>3.0</b>	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>2.0</b>	0.50		-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-		-	-	<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>		-	-	<b>3.6</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> =0.65	<b>5.0</b>	0.20		-	-	<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10		-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.72	<b>3.8</b>	0.50		-	-	<b>3.8</b>
4 効率的運用			<b>2.0</b>	0.20		-	-	<b>2.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.0</b>	1.00		-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1 モニタリング			-	-		-	-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>		-	-	<b>3.4</b>
1 水資源保護			<b>3.4</b>	0.20		-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		自動水栓などに加えて、節水型便器を主要水栓の過半に採用している	<b>4.0</b>	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>3.4</b>	0.60		-	-	<b>3.4</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		集材材、ビニル床シート、断熱材、アスファルト舗装	5.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.20		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.7</b>	0.20		-	-	<b>3.7</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>4.0</b>	0.70		-	-	
1 消火剤			-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP=1以下の発泡剤を用いた断熱材を使用	5.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>		-	-	<b>2.9</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率87%	<b>3.5</b>	0.33		-	-	<b>3.5</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.3</b>	0.33		-	-	<b>2.3</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.5</b>	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.0</b>	0.33		-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 騒音			3.0	1.00		-	-	
2 振動			-	-		-	-	
3 悪臭			-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート









■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	小島化学薬品㈱ L棟 新築工事	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		=	5.1	
3.5		1.6				
重点項目の各スコアの合計点						
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上			
	 	  	   			

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.5
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
<配慮した内容を記述> ライフサイクルCO2排出率87%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述> 特になし			

: 入力欄